

図書館サイエンス夜話とは？

サイエンスカフェとはもともと科学者や技術者と市民が科学の話をするカフェのこと。1998年にイギリスで始まったとされています。現在では、特に飲食をする場でなくとも、語り手と聞き手が打ち解けた雰囲気の中で科学について語る場をサイエンスカフェといっています。

「図書館サイエンス夜話」は鶴舞中央図書館があいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワークの協力を得て開催するサイエンスカフェです。あいちサイエンスフェスティバルの期間中、二夜にわたり開催いたします。皆様ふるってご参加ください。



名古屋市鶴舞中央図書館

名古屋市昭和区鶴舞1-1-155
電話:052(741)9822

古紙パルプを含む再生紙を使用しています

第一夜

図書館サイエンス夜話 ブックリスト①



令和2年10月13日(火)
「オーロラと夜間大気光の科学」

名古屋大学 宇宙地球環境研究所 教授

塩川 和夫氏

あいちサイエンスフェスティバル@つるま

第一夜のブックリスト

(※吹き出しは先生のコメントです)

★先生の書かれた本★

・夜間大気光のふしぎ

塩川和夫／著 鈴木臣／著
幻冬舎メディアコンサルティング 2018

★先生のおすすめ本★

・オーロラ!(岩波科学ライブラリー 243)

片岡龍峰／著 岩波書店 2015

・オーロラウォッチングガイド

～宇宙の神秘に迫る～

上出洋介／著 JTBパブリッシング 2008

・オーロラ・ウォッチングガイド

～一生に一度は見たい絶景の楽しみ方～

赤祖父俊一／監修 誠文堂新光社 2018

片岡先生、上出先生、赤祖父先生は他にも著書がたくさんあり、これはその中でも比較的新しいもので、代表的なものです。

★先生が学生時代に影響を受けた本★

・明治・父・アメリカ

星新一／著 筑摩書房 1975

★図書館からのおすすめ本★

・オーロラの日本史

古典籍・古文書にみる記録

岩橋清美／著 平凡社 2019

過去に日本で見られたオーロラを、日記や随筆といった古典籍の記録から読み解く。名古屋でオーロラが見られたという記録もあり。

・書物學9 江戸の欲望／江戸という欲望

勉誠出版 2016

上記資料の共著者でもある片岡龍峰氏が行った講演を書き起こした「オーロラと古典籍」収録。

・極北の絶景パノラマ・オーロラ

田中雅美／著 河出書房新社 2014

カナダ・イエローナイフで撮影されたオーロラの写真集。DVD付き。

・オーロラの話をしめよう 世界的権威が語るオーロラ研究の黎明期から最新研究まで

赤祖父俊一／著 誠文堂新光社 2018

オーロラの世界的権威が60年かけて研究してきた記録。著者が歩んできた道をたどりながら、オーロラについての理解も深まる。

・太陽のきほん

ゆかいなイラストですっきりわかる

上出洋介／著 誠文堂新光社 2018

オーロラを知るには太陽についての知識も必要。イラスト満載で中高生から楽しめる。

・デジタルアーカイブ・ベーシック3

自然史・理工系研究データの活用

井上透／監修 勉誠出版 2020

文系、理系双方からのアプローチによって、何百年も昔に発生したオーロラを探る。

・オーロラの民 ユカギール民族誌

B.A.トゥゴルコフ／著 刀水書房 1995

オーロラの見える極北に暮らす少数民族ユカギールの民族誌。

配架場所や予約の方法など、わからないことがありましたら職員におたずねください。